

市況情報

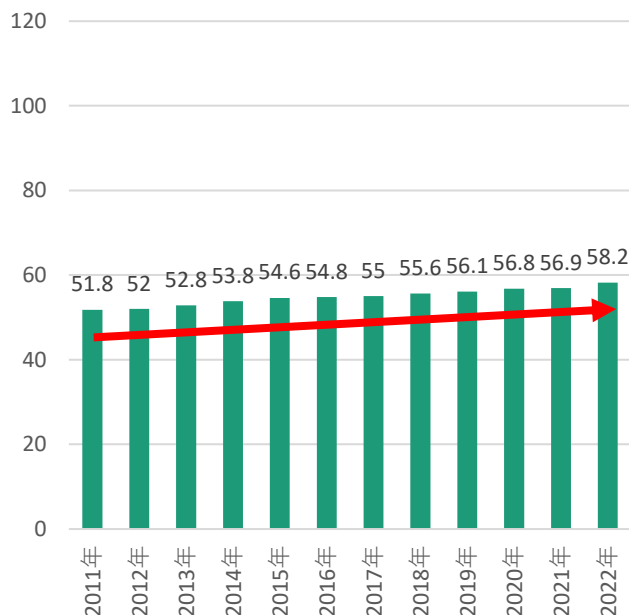
2023.August

建物構造の違いが土地有効活用の収支に影響 建築費上昇の今、上昇幅の小さい木造は狙い目

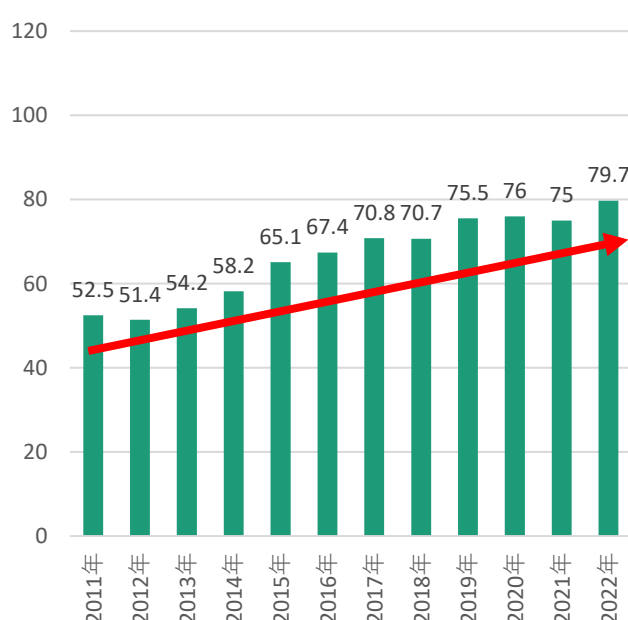
原材料費の高騰や職人不足による人件費の上昇などにより、建築費は上昇しています。特に人件費については、2024年の働き方改革でさらなる労働力不足が危惧されており、建築費の上昇はしばらく続く見込みです。下記グラフを見るとわかる通り、構造によって上昇幅は異なります。上昇が緩やかな木造に比べ、鉄骨造・鉄筋コンクリート造は大きく上昇しています。今後、土地有効活用の際、どのような構造を選択して建物を建てるのか、収支の面からも構造選択が重要になってくると言えるでしょう。

建築費水準の推移(万円／坪)

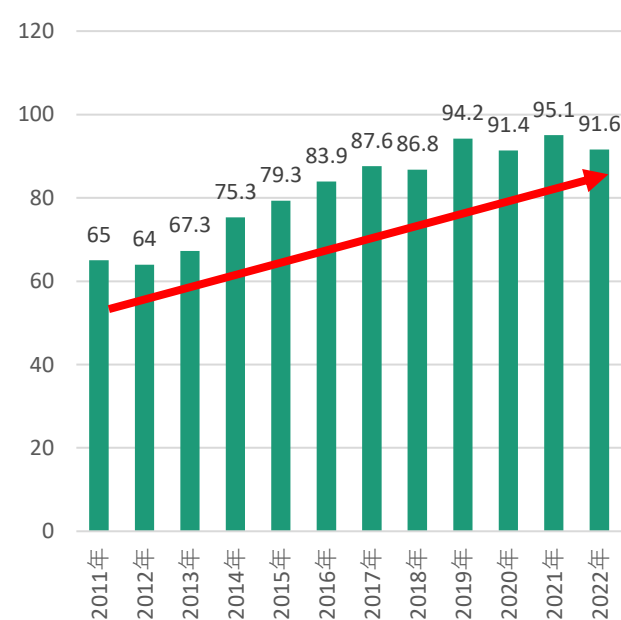
木造



鉄骨造



鉄筋コンクリート造



出典：国交省「建築着工統計調査」